

『サマンサ魔女の笑顔が会社を伸ばす』

井上邦彦著 生産性出版

この本の主人公の一人である小野英輔会長は、私の経営の師匠です。私が、30数年前「この会社を経営しなさい」と言われて、当時土木作業員だった私が、経営のなんたるか何も判らないまま、経営者の仲間入りをさせられた。その時ご縁があってこの小野さん(「さん」と呼ばせてもらいます)と知り合いました。その時に教えられたことは、

- 1.会社は絶対に倒産させてはいけません。なぜなら社員を路頭に迷わせることになるから。
- 2.そのためには、師匠を持ち、その師匠から学びなさい。

教えられたとおり、故一倉定氏、そして牟田學氏ほかたくさんの人に学んできました。しかしいつまで経っても、小野さんという身近の師匠にすら近づくことができない。近づくどころか、この本にあるサマンサジャパンの社員の皆さんの成長ぶりは素晴らしく、目を見張る思いをさせられます。

しかし小野さんや、サマンサの社員の人たちとの比較で、私自身の優劣を決めるのではなく、過去の自分よりどれだけ成長したか、どれだけ過去よりお客さまから強く必要とされているかを目ざし、ベストを尽くしたい。(山根)



風流堂 内藤社長様からうれしいお便りを頂きました

蔵書新着状況

- ・古志原から松江へ 三原浩良 今井書店
- ・出雲國風土記 加藤義成 松江今井書店
- ・「A4」1枚A4で利益を5倍にする方法 岡本達彦 ダイヤモンド社
- ・微差力 斎藤一人 サマーク出版
- ・はやぶさの大冒険 山根一真 マグジナル
- ・自分の頭で考えるということ 茂木健一郎、羽生善治 大和書房
- ・はじめて哲学する本 藤原和博 デイカガ
- ・一度も植民地にならなかったことがない日本 デュラ・れい子 講談社
- ・理科雄は本名です 柳田理科雄 空想科学文庫
- ・空想非科学大全 柳田理科雄 空想科学文庫

編集後記

沖縄県は日本有数の長寿県として広く知られている。その大きな要因として、沖縄独特の食文化が挙げられる。特に、豚肉料理が多く、テレビやミミガー等、すべての部材が料理に使われているのではないだろうか。また、野菜では、ゴーヤはもちろんのこと、パパイヤやヘチマなども食材として使われている。水産資源にも恵まれ、一物に偏らず、バランス良く食べているのが良いのではないだろうか。(長野)

発行日：毎月10日  
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20  
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472  
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野  
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp  
印刷：授産センターよつば 印刷係  
ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今月の賞品は、中村天風2011年版 成功手帳です。天風師の成功語録収録、最高級牛本皮革カバーを施してあります。締切は10月末です。奮ってご応募ください。

Q：島根県庁前に銅像が建っていますが、誰でしょう？日本のスポーツ振興に多大な功績を残した人です。

先月号の答えは「なす」でした。抽選の結果、米子市渡部様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

原稿を公募します 本誌の原稿を公募します。800字~1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。



2010 10月 Vol.209

「リサイクルって、カッコいい」



お礼状

山陰興業の皆様へ

先日は、お忙しいところ大変お世話になりました。

私は職場体験に行くまで、山陰興業は工場の中だけで働いてい  
ると思、ていました。でも、実際にみると環境などに行、ていてと  
も驚きました。

私が特に頑張、たことは、工場の中の床掃除です。掃除の  
ま、パイプが熱いので指心になるように注意して床掃除をしました。

普通は掃除といっ、かけん、している私ですが、今回の体験で掃除  
って大事なんだと思、ていました。

最後になりましたが、これが楽しくなりますので、頑張、てい、か  
れ

どうぞ健康をお祈りいたします。

木村社員から、ホースのつなぎ方を教わる森山君。



工場の床掃除をがんばってくれました。掃除の大切さを分かってくれ、体験学習が有意義なものになったと思う。ひたむきな姿に皆、入社当時を思い出したであろう。

「初心忘れるべからず」である。

『感動宣言』  
お客様や社員、さらには地域社会の感動話を掲載してまいります。  
弊社とお客様との間に生まれた「ちょっといい話」や「感じるような感動話」をお届けしていきたいと思、います。

この季節になると、近隣の学校から、我が社に職場体験学習として、数名の生徒さんがやってくる。

今年は、湖陵中と出雲養護学校高等部(10/4~)からである。生徒さん達は、将来の職業選択の参考にするため、我が社の仕事に興味津々だ。引き受ける側も限られた時間を最大限有効に使おうと懸命だ。

9/14,15に来社した、湖陵中の森山君は、我が社のリサイクル事業に興味をもったようだ。大型タンクローリーに乗車して、松江営業所へ廃油引き取りに同行した。「揺れが少なく、乗り心地は良かった。タンクローリーにホースをつなぐ際、器具の開け閉めを教えてもらい、興味をもった。廃油をリサイクルして、新しい燃料をつくるのは、環境によくて、カッコイイ!皆さんに優しく教えてもらってうれしかった」と。外部から見たら、私達の仕事は「カッコイイ」。生徒さんに教えられ、感動を覚えるのである。

(長野)

お客様訪問

## サマンサジャパン株式会社 三河営業所 様

〒446-0056

愛知県安城市三河安城町1丁目9-2

TEL 0566-79-0281

FAX 0566-72-7776



笑顔が素敵なサマンサクラブの皆さん

愛知県安城市にある安城更生病院は、一日の患者数平均2300人、ベッド数800床の地域の病院である。ここでのサマンサクラブの仕事を見学させていただく機会を得た。安城更生病院での業務は、警備・駐車場業務、SPD搬送業務（滅菌物回収外来）、清掃業務、電話交換業務、フードアテンダー業務、新生児救急搬送業務である。お客様のニーズにあわせて、幅広い業務をこなしている。これらの業務を約150名のサマンサクラブで行っている。

### 衝撃の朝礼

朝礼は、部署ごとに仕事の始まるの時間に合わせて行われる。リーダーの前に横二列に整列し、皆笑顔で始まる。まず、挨拶チェック。

「十五度挨拶、三十度挨拶、四十五度挨拶」

次に企業理念の唱和だが、皆が暗証していて、すらすらと流れていく。

「私たちは先進性とチャレンジ精神でお客様の繁栄と幸福を追求していきます。さらに一人ひとりが素晴らしいと言える企業を目指し、他に類のないシステムと絶えざる教育をもって実現に努めます。」

そして、行動四原則の唱和となる。

- 一 大きな声で
- 二 きびきび行動
- 三 自分から挨拶
- 四 明るい笑顔」



当病院のマサスタッフを束ねる鈴木課長様



サマンサクラブの女性が、カラフルなユニフォームに身を包み、病院内を動き回ります。その仕事は、正確かつ迅速で病院から信頼を得ています。

### 働く喜び

医療行為は無いものの、人間の生命を預かる病院での業務。とてもハードな業務なのに、なぜ一日中笑顔でいられるのか？それは、「自分たちの元気な姿を見せて、周囲の人に元気になってもらいたい」ということだ。それだけ自分たちの仕事にやりがいと誇りを感じているのだろう。その根源には、企業理念があるのだ。朝礼でも唱和されるように、それが社員全員に行き渡り、共有されているように感じた。

また、小野会長が示された企業理念がトップダウンし、パートの方々まで浸透しているのだ。この企業理念の全社員への浸透こそ、発展の礎になっているのではないか。これは一朝一夕にできるものではない。言い続けることが大切だ。鈴木課長は3ヶ月に1回全スタッフと面談して、コミュニケーションを計り、企業理念の共有と個々のスキルアップに繋がる対話をしている。こういった地道な繰り返し、現場のスタッフが企業理念を理解して生き生きと働ける基礎になっているのだ。

また、その後には唱和される「行動四原則」はまさにサマンサクラブの行動そのものだ。周囲から注目もされており、きびきびと無駄の無い動きだ。このような決められたことを当たり前のように実行している。まさにそれだと感じる。基本的なことをおろそかにして何ができるのだ。まずはこの「行動四原則」なのだ。私たちも朝礼で唱和しているが、毎日、言い続け、実行しなくてはならない。

今回視察させていただいたサマンサクラブのかたがたは、皆さん、明るい笑顔、きびきびとした行動で、調和が取れていた。それだけで仕事の質は高まっていく。私は、「行動四原則」特に笑顔の挨拶を実行し続けます。（長野）



きびきびとした朝礼で、患者様たちに注目される。



### 一斉清掃の実施

涼しくなり、気持ちの良い秋晴れで作業もスムーズに進んだ。道路側の生け垣がすぐに伸びる。伊達山社員がトリマーの刃を研いでくれたので、刈りやすくなったようだ。福岡課長、伊達山社員、藤原社員の連携プレーですばらしくきれいになった。

分離槽も定期的に清掃し、汚泥が少なくなってきた。

季候が良くなってきて、気持ちの良い汗をかくことができる。みんなできれいな山陰興業をつくって



いこう。（長野）



### 研修～簿記と経理の基礎

「1日で学ぶ簿記と経理の基礎」

主催：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

簿記・仕訳のテクニックから決算書作成まで経理業務全般を演習中心でマスターしていく。

#### 講義より学んだ事

会社の活動を経理的に表現するときはすべての要素は「5つの箱」の中身（勘定科目）として表現される。

現金を金庫に眠らせない。（現金はほっといても何も生まない。）

小口現金は定額資金前渡制のほうが良い。月初に一定額を小口現金係の手許におかれるようにし、月末精算する。

金庫管理の心得。

仕訳から決算書作成までの流れ。

#### その他

経理の業務を、やり方だけでなく意味なども詳しく教えていただき、とても楽しく学ぶことができました。仕訳から決算書作成までの一連の流れを教えていただくことによって全体像を捉える事ができ、日々の業務に対する心構えも変わりました。また、利益確保の仕方なども、演習問題を交えながら解り易く教えていただきました。

正確な数字を出し、利益をあげる為の正しい判断材料として役立てることができるよう、売上・入金・費用管理など、いままで以上に慎重に業務を行なっていきます。

（恩村）



『カエルをたべてしまえ』を読んで  
ブライアン・トレシー著 ダイヤモンド社

題名がかなりインパクトがあった。「カエルを食べてしまえ！」この言葉が気になり本を読んでみた。昔からよく言われていることは、「朝一番に生きたカエルを食べれば、その日の最悪時はもう終わったと安心して過ごすことができる」また、「もし二匹のカエルを食べなければならぬなら、醜い方から食べよ」ということだ。「カエル」とは、あなたにとって最も難しく重要な仕事で、今やらなければどんどん後回しになってしまうものことである。とにかく行動しなさいという作者の強いメッセージがあった。たしかに、世の中話だけでその気になり、実際に行動せずに終わっているから、全く成功しないことが多くあると思う。私も最近よくこの誰もが知っているけど、なかなか出来ないこと「行動する」ことの重要さに気づいてきた。口だけの人間にはなりたくない。積極的に走り出そうと思う。（山口）

### 元気の出る言葉

中村天風師

月を見ても、花を見ても、  
「ああ、きれいだな」と思うのは、  
あなた方の「こころ」である

（「君に成功を贈る」より、日本経営合理化協会刊）

日々の生活、さらに自分の人生を価値あるものにするにはどうしたらいいか？  
物質的なものに恵まれても、それでは心の中は満足できない。  
自分の中で、価値あるものをみつけ、心の充実をはかっていきたいと思う。（長野）





## 再生油の品質と燃焼を改善する

・周りからお客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

木村社員からの報告。I社のボイラー担当者さまから、「最近燃料の質が良くなったね。月曜日の燃焼の立ち上げ時、炉内が冷えた状態なのに、ほとんど燃料コックの調整が必要ない。高燃焼コックを以前より半分以下に絞っている。この現象は今年4月から始まって、7月くらいから顕著になった。」

その他T社社長さまからも、「問題なく燃焼している。以前に比べ、余分な手間がかからず安心して。」と喜んでいただいた。」社さまからも、同様の報告がありました。

この3基のボイラーは、小型ボイラーで、今まで燃焼不良が起きることもあり、安定した燃焼をご提供していませんでした。もちろん従来からの大型用燃料、焼却炉、乾燥炉などには、ほとんどクレームは発生せず、ご満足いただいているものと確信しています。

しかし小型ボイラーについては、今まで確かに燃焼にバラツキがあり、お客さまにご迷惑をかけていました。そこでこの数年、楠田、百瀬両顧問のご指導のもと、品質の向上、安定した燃焼を目

指してきたのです。

私が小型ボイラーを重要視する理由は、私たちがリサイクルしている燃料は、地域からでる不要になった使用済みの潤滑油を収集し精製した、この地域から生まれた新しいエネルギーです。だからこそこのエネルギーは、この地域の産業、経済にもっと貢献すべきと考えるからです。

これからC社さまのボイラー燃料としての実証運用が始まります。このエネルギーを有効活用していただくことにより、燃焼効率が上がり、製造効率が上がった。環境にやさしい工場になった。地域の子供達が、健やかに育つ。そんなお手伝いができることが私達の夢です。そしてこの地域が、物と心の両面で豊かになるお手伝いすることが夢です。

この夢の実現へのスタートは、お客さまの「最近燃料の質が良くなったね!」の声です。「なぜ良くなったのだろうか?」その「なぜ?」を考え、外部要因、内部要因に分けて検証し、一つ一つ品質と燃焼をもっと改善して欲しい。

## 私はこう考え、こう実行します

### 【松下】

夢を現実のものにする。

### 【福島】

今の仕事に満足せず進化させる。

### 【岸本】

お客様のお手伝いが出来ること、困っていることを探す。

### 【福岡】

地域のお客様にもっと喜んで頂ける収集サービスを提供する。

### 【吾郷】

上質の燃料を作る為に、上質の原料を収集します。

### 【大國】

お客様の求められている品質のさらにもう一つ上の品質を実現する。

### 【木村】

油の知識を深め、よい製品を作る。

### 【榎並】

お客様の意見を良く聞き、良い所は伸ばし、良くないところは改善します。

### 【山口】

私はきびきび行動し、お客様から良くなったと言われたい。

### 【岡田】

常に、お客様のことを考え行動します。

### 【高橋】

私は、ISO品質と環境の審査を無事に更新することを目指します。

### 【植尾】

品質向上への挑戦をする。

### 【松本】

なぜ?を追求し、もっと地域に貢献します。

### 【長谷川】

山陰地方が少しでも豊かになるよう微力ながら頑張ります。

### 【恩村】

結果が出るまで諦めずに挑戦し続けます。

### 【藤原】

お客様に安心して廃油をいれてもらえるタンクを作ります。

### 【桑本】

再生油の品質改善について、皆で協力していく。

### 【中村】

作業の流れの中で、自分は今、何をすべきかを考え、優先する作業から実施し、ムダを減らします。常に勉強の気持ちを持ち続け、改善に努めます。

### 【清水】

もっと人の役にたつような仕事をやる。

### 【足立】

お客様への対応の質を良くします。いつも元気に明るく、親切に。

### 【長野】

お客様からもっと信頼され、期待されるエコス通信を目指す。

(一部社員抜粋)



里山に咲くヒガンバナ



## 安全講習

毎年行っている、移動タンク貯蔵所（以下、タンクローリー）の点検を行った。だいぶ慣れてきて要領よく点検出来るようになった。タンクローリーに携行する書類はまとめてファイリングされ、簡単に取り出すことができる。危険物を車載しているという意識

を常に持ってプロの仕事を目指します。  
（長野）



タンクローリーの消火器も年に1回、有資格者が点検を行います。



## 今月の工場改善・・・ 安全操業のために

斎藤式超遠心分離2号機の分解清掃を行った。分解するために治具をつけないといけない。治具をつけるのも、大変な作業だ。細かいスラッジが分離機内部に付着するので、それらを取り除いてやらなければならない。

このような地道な作業があってこそ、よい製品が作れるのだ。

こつこつが勝利である。  
（長野）



## 社員研修旅行 in沖縄 ～日本の歴史を学ぶ 長生きの秘訣を食文化で探る～

### 1. 日本の歴史を知る

戦争の悲惨さは、言葉では言い尽くせないが、第二次世界大戦末期の沖縄戦で、若い命がたくさん犠牲になったのは、とても胸が痛む。14歳から19歳くらいの、学校で教育を受けるべき生徒たちである。勉強がしたくて学校へ行ったのになぜ、こんな子供たちまでも動員させられたのであろうか。本来は、どこかへ疎開させてもいいのではなかったのか。怒りさえ感じた。

ひめゆり平和祈念資料館では、生き残った女性が貴重な証言をきかせてくれる。証言映像のなかで特に心に残った証言がある。現在76歳の女性は、解散命令が出て、当時16歳の女性と二人で逃げたのだが、連れれの女性は、砲弾で亡くなってしまった。「もっと早く戦争が終わっておれば・・・」と悔しい気持ちでいっぱいだ。16歳当時の友人の写真をいつも肌身離さず持ち、16歳の友人がずっと心の中で生きていくという。それらの証言に涙しない人はいないであろう。日本政府が沖縄を捨石にしたことに対して、その無責任さに腹が立つと同時にとても哀しい。

戦争の悲惨さがリアルに伝わり、戦争の無い平和な世界を願わずにはいられない。

### 2. 長生きの秘訣を食文化で探る

陽気に楽しく暮らしていること、近所付き合いが密で行動的なこと、自然あふれる沖縄の地が人々を長寿にしていると思う。また、健康に生活するために、下記のような食生活が長寿に繋がっていると思われる。それは、

豚肉、またその加工品をよく食べる。

豆腐等をよく食べる。

野菜類や海藻類をよく食べる。

塩分、砂糖の摂取が少ない。

豚は、昔の沖縄では、正月や行事で食べる特別なごちそうだったらしい。だから、その特別な食材を無駄にしない料理の知恵が働き、いろいろな調理法が考えられ、沖縄特有の野菜等とうまく調理され、日常生活のなかで自然と摂取されている。また、栄養豊かな昆布を大量に食べる料理法と、出汁をしっかりとった塩分控えめな味付けも健康でいられるための知恵である。

上記のような、日常生活での食事が長生きの秘訣ではないかと思われる。

（長野）



沖縄県平和祈念資料館にて